

レファレンス協同データベース事業 令和元年度事業報告

目次

1. 活動報告	2
(1) 事務局の活動（時系列）	2
(2) 事務局の活動（その他）	2
(3) 企画協力員による活動.....	3
(4) 参加館による活動.....	4
(5) サポーターによる活動.....	5
2. 統計	7
(1) 参加館数（令和2年3月末現在）	7
(2) データ登録件数（令和2年3月末現在）	8
(3) データの被参照件数（令和2年3月末現在）	9
(4) YAU (Yearly Active User) 数の推移	9
(5) 令和元年度礼状送付.....	10
(6) 令和元年度企画協力員賞受賞館.....	10

1. 活動報告

(1) 事務局の活動（時系列）

日程	内容
令和元年	
6月18日	第15回レファレンス協同データベース事業担当者研修会（関西館）
7月9日	第15回レファレンス協同データベース事業担当者研修会（東京本館）
8月2日	令和元年度全国書誌データ・レファレンス協同データベース利活用研修会（東京本館）
8月16日	令和元年度全国書誌データ・レファレンス協同データベース利活用研修会（関西館）
8月30日	関西大学・村上泰子教授ゼミ学生受け入れ
9月5日	令和元年度図書館情報学実習生受け入れ
9月9日	講師派遣：令和元年度第2回図書館実務研修会（主催：長崎県立長崎図書館、長崎県公共図書館等協議会、長崎県大学図書館等協議会）
9月18日	令和元年度企画協力員会議（第1回）
10月10日	講師派遣：令和元年度静岡県市立図書館協議会館長運営研修会（主催：静岡県市立図書館協議会）
10月11日	講師派遣：レファレンス協同データベースの利活用研修（主催：県立長野図書館、共催：上田情報ライブラリー）
11月9日	2019 アーバンデータチャレンジ京都 in NDL 関西館（アイデアソン）にてデータ紹介・チームへのサポート参加
11月12～14日	第21回図書館総合展にて広報活動（ミニプレゼン、パンフレット配布等）
12月7日	2019 アーバンデータチャレンジ京都 in NDL 関西館（ハッカソン）にてチームへのサポート参加
12月16日	令和元年度企画協力員会議（第2回）
令和2年	
2月27日	国立国会図書館長からの御礼状送付、企画協力員賞授与
3月12日	第16回レファレンス協同データベース事業フォーラム「“続けること”が生み出すもの ―レファ協への登録・活用のすすめ―」（※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、中止）
3月27日	遠隔研修教材「レファレンス協同データベースの利活用」公開

(1) 事務局の活動（その他）

a. 参加館へのサポート

レファ協活用に関する情報、研修等イベントの案内、おすすめデータの紹介等を掲載した参加館向けメールマガジン『参加館通信』を月1回発行した。令和元年度の発行回数は12回（第401号～412号）である。また、システム停止その他の連絡事項周知のため、必要に応じて参加館通信号外を発行した。

参加館からのレファ協に関する問合せを受け付け、随時回答を行った。新たに参加館となった機関には、初期作業として最初のデータの登録を促し、作成されたデータの確認及びデータへの助言を行った。また、レファ協への参加後に初めて一般公開されたデータに対しては、事務局からのコメント付与、参加館通信や Twitter での紹介等を行った。

b. 広報活動

Twitter 公式アカウント (@crd_tweet) から、登録データやイベント情報等を投稿した。令和元年度の総ツイート数は 3,613 件、1 日当たり平均ツイート数は約 15 件、令和 2 年 3 月末時点のフォロワー数は 38,162 アカウントである。平成 31 年 3 月末から令和 2 年 3 月末にかけて、フォロワー数の伸び率は約 24%となっている。

c. システム改修

以下のシステム改修を行った。

- ・ 常時 SSL/TLS 化 (セキュリティ対応)
- ・ 改元対応
- ・ データ詳細表示画面の印刷におけるレイアウト崩れの解消

d. データ登録支援

狭山市立中央図書館について、既にデータ化された事例ファイルを加工し、データベースに登録する作業の支援を行った。

e. 刊行物等への掲載

以下の記事を執筆した。

- ・ 関西館図書館協力課・レファレンス協同データベース事業事務局「E2129 – 第 15 回レファレンス協同データベース事業フォーラム<報告>」『カレント・アウェアネス – E』(367):2019.4.18. <<https://current.ndl.go.jp/e2129>>
- ・ 飛田由美「レファレンス協同データベース事業の可能性」『労働の科学』74(8):2019.8, p.1.

また、以下の記事で事業が紹介された。

- ・ 「つまようじの溝は何のため？ 素朴な疑問に回答、図書館司書 DB」『京都新聞』2019.8.20, 夕刊; 2019.8.28, web 版 <<https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/13879>>
- ・ 「県立図書館、県文書館 国会図書館から礼状」『中日新聞』2020.3.30.

(2) 企画協力員による活動

a. レファレンス協同データベース事業企画協力員

(令和 2 年 3 月末時点。敬称略、五十音順)

井上 昌彦	関西学院大学図書館運営課課長補佐
小田 光宏	青山学院大学コミュニティ人間科学部教授
坂井 華奈子	独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所

学術情報センター図書館情報課課長代理
 島林 智香子 東京都立中央図書館サービス部情報サービス課サービス計画担当
 田子 環 神奈川県立磯子高等学校司書
 谷本 達哉 羽衣国際大学人間生活学部准教授
 西口 光夫 豊中市立庄内図書館長

b. 令和元年度の主な活動

<授業での紹介>

- ・谷本 達哉

桃山学院大学「文部科学省委嘱 2019年度桃山学院大学司書講習」

備考：レファ協研修環境を使ったデータ検索及びデータ登録演習が行われた。

(3) 参加館による活動

<講演等の一部での紹介>

- ・伊丹市立図書館本館「ことば蔵」

日程	講演等の名称	主催	参加人数
令和元年 5月14日、21日、28日	トライやる・ウィーク	伊丹市立図書館 本館「ことば蔵」	12名
備考：中学生を対象とした体験活動週間「トライやる・ウィーク」において、レファ協で一般公開した事例を基に、レファレンス業務のレクチャーが行われた。			

- ・神奈川県学校図書館員研究会

日程	講演等の名称	主催	参加人数
令和元年8月22～23日	東京都立高等学校学校司書会 第37回夏季連続講座	東京都立高等学 校学校司書会	170名(延 べ)
備考：「学校図書館の現状」講座において、「つながる学校図書館 神奈川県立高校図書館のネットワーク化とその実践事例について」と題して、神奈川県学校図書館員研究会のレファ協への参加や、取り組み内容について紹介された（報告者：田子環／神奈川県立磯子高校）。			

- ・千葉県立図書館ほか

日程	講演等の名称	主催	参加人数
令和元年12月12～13日	令和元年度全国公共図書館研究 集会（サービス部門 総合・経営 部門）	日本図書館協会 公共図書館部 会、関東地区公 共図書館協議 会、千葉県教育 委員会、千葉県 公共図書館協会	-

備考：「レファレンスサービスを活性化するために」という研究主題のもと、レファ協参加館である岡山県立図書館、調布市立図書館、恩納村文化情報センターが事例を発表した。

<研修等>

- ・神奈川県学校図書館員研究会

日程	研修等の名称	主催	参加人数
平成31年4月26日	平成31年度新規採用学校司書研修（第2回）	神奈川県教育局総務室	13名
令和元年5月14日	学校司書等実務研修春期全体研究会	神奈川県教育局総務室	141名
令和元年12月5日	学校司書等実務研修冬期全体研究会	神奈川県教育局総務室	149名

- ・国立国会図書館

日程	研修等の名称	主催	参加人数
平成31年4月12日	平成31年度利用者サービス部門新規配属職員研修	国立国会図書館利用者サービス部	50名

- ・山口県立山口図書館

日程	研修等の名称	主催	参加人数
令和元年6月6日、13日	新任図書館職員基礎講座	山口県立山口図書館	31名

<刊行物等への掲載>

- ・『令和元年度 神奈川県学校司書等実務研修 研究活動報告書』2020.5.
- ・「2019（令和元）年度全国公共図書館研究集会（サービス部門 総合・経営部門）報告書」日本図書館協会 HP <http://www.jla.or.jp/Portals/0/data/bukai/public/2019houkokuke_nkyusyukaisabisu.pdf>

(4) サポーターによる活動

サポーターは登録データへのコメント付与や当事業の広報などで活動している。令和2年3月末時点で63名が登録されている。

<研修での紹介>

- ・坂下 直子

日程	講演等の名称	主催
令和元年8月30日	主体的・対話的で深い学びにつながる	田原市教育委員会、田原市

	図書館利活用研修 講演題目「学校図書館と公共図書館で 創り出す学びのすがた」	図書館
--	--	-----

・寺尾 隆

日程	研修等の名称	会場
令和元年10月22日(2回)、10月31日、11月5日、11月12日、11月26日、12月3日、12月7日、12月17日、12月20日、令和2年1月14日	論文資料収集ガイダンス(全11回)	大阪経済法科大学

<授業での紹介>

・坂下 直子

神戸女子大学	文学部教育学科	「情報サービス演習」
岡山大学	教育学部	「学習指導と学校図書館」
京都女子大学	司書課程	「児童サービス論」
	司書教諭課程	「読書と豊かな人間性」
大阪教育大学	教育学部教養学科	「情報メディアの活用」
大阪樟蔭女子大学	学芸学部国文学科	「図書館基礎特論」、「学校図書館情報サービス論(学校司書養成科目)」
龍谷大学	文学部	「学習指導と学校図書館」
京都大学	教育学部	「読書と豊かな人間性」

<刊行物等への掲載>

- ・仲明彦「「使える！」レファ協」『学図研ニュース』(403):2019.9.1.
- ・坂下直子「学校図書館におけるレファレンスサービス小考—奉仕・支援・指導概念の関係性に着目して—」『京都女子大学図書館情報学研究紀要』(7):2020.3, pp.13-26.

2. 統計

(1) 参加館数（令和2年3月末現在）

参加数の伸び率は近年鈍化傾向にはあるが、その中でも着実に増加している。

館種	平成29年度 まで	平成30年度 まで	令和元年度 合計	令和元年度 増	令和元年度 減
公共図書館	452	472	483	11	0
都道府県	53	53	53	0	0
政令指定都市	25	25	25	0	0
市町村	374	394	405	11	0
大学図書館	186	191	197	6	0
国立大学	48	49	49	0	0
公立大学	20	20	20	0	0
私立大学	117	121	127	6	0
高等専門学校	1	1	1	0	0
専門図書館	57	59	62	3	0
学校図書館	52	60	63	3	0
アーカイブズ※	9	10	10	0	0
国立国会図書館※	13	13	13	0	0
合計	769	805	828	23	0

※ 「その他」は平成27年7月以降「アーカイブズ」に変更。

※ 国立国会図書館には支部図書館を含む。

<令和元年度新規参加館>（参加承認順）

公共図書館

函南町立図書館、相生市立図書館、葛飾区立中央図書館、筑西市立図書館、養老町図書館、那珂川市図書館、松川村図書館、南足柄市立図書館、長与町図書館、豊田市中央図書館、中野市立図書館

大学図書館

立正大学古書資料館、久留米大学御井図書館、京都女子大学図書館、亀田医療大学図書館、福島学院大学図書館情報センター、明治薬科大学図書館

専門図書館

公益財団法人三康文化研究所附属三康図書館、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構 金属資源情報センター、東京国立博物館資料館

学校図書館

かつらぎ町立笠田小学校図書館、桃山学院中学校高等学校図書館、熊本県立八代高等学校・八代中学校

(2) データ登録件数（令和2年3月末現在）

平成30年度から令和元年度にかけて、データ登録件数の伸び率は約11%と順調に増加している。

a. 館種別・公開レベル別データ登録件数

	公共 図書館	大学 図書館	専門 図書館	学校 図書館	アーカ イブズ	国立国会 図書館	合 計
レファレンス事例	166,487	23,395	18,698	4,530	2,915	20,182	236,207
一般公開	84,784	11,959	6,036	2,145	715	19,290	124,929
参加館公開	10,815	2,834	484	153	268	29	14,583
自館参照	70,888	8,602	12,178	2,232	1,932	863	96,695
調べ方マニュアル	8,206	623	215	691	35	1,428	11,198
一般公開	1,926	428	143	436	6	1,302	4,241
参加館公開	5,923	38	5	4	2	3	5,975
自館のみ参照	357	157	67	251	27	123	982
特別コレクション	325	83	436	14	5	33	896
一般公開	226	52	71	13	0	17	379
参加館公開	69	7	0	0	4	2	82
自館のみ参照	30	24	365	1	1	14	435
参加館プロフィール	483	197	62	63	10	13	828
一般公開	483	197	62	63	10	13	828
参加館公開	0	0	0	0	0	0	0
自館のみ参照	0	0	0	0	0	0	0
合 計	175,501	24,298	19,411	5,298	2,965	21,656	249,129
一般公開	87,419	12,636	6,312	2,657	731	20,622	130,377
参加館公開	16,807	2,879	489	157	274	34	20,640
自館のみ参照	71,275	8,783	12,610	2,484	1,960	1,000	98,112

b. 年度ごとのデータ登録数

	レファレンス 事例	調べ方 マニュアル	特別 コレクション	参加館 プロフィール	合 計	総登録数
平成16年度	13,620	167	158	283	14,228	14,228
平成17年度	6,557	190	73	107	6,927	21,155
平成18年度	4,087	183	5	52	4,327	25,482
平成19年度	4,841	197	21	10	5,069	30,551
平成20年度	5,682	5,928	13	27	11,650	42,201
平成21年度	8,759	223	10	32	9,024	51,225
平成22年度	13,646	307	28	29	14,010	65,235
平成23年度	17,956	543	54	20	18,573	83,808
平成24年度	23,079	361	124	23	23,587	107,395

平成25年度	20,830	688	△84	34	21,468	128,863
平成26年度	15,937	331	14	39	16,321	145,184
平成27年度	19,133	1,184	43	41	20,401	165,585
平成28年度	21,845	△16	20	44	21,893	187,478
平成29年度	18,084	320	48	28	18,480	205,958
平成30年度	18,436	195	19	36	18,686	224,644
令和元年度	23,715	397	350	23	24,485	249,129

(3) データの被参照件数（令和2年3月末現在）

クローラによるアクセスを抑制する対応の関係で、平成30年度は件数が減少したが、令和元年度は順調に増加している。

	レファレンス 事例	調べ方 マニュアル	特別 コレクション	参加館 プロフィール	合計
平成16年度	23,822	1,739	1,571	2,384	29,516
平成17年度	135,633	6,698	2,701	6,729	151,761
平成18年度	372,923	27,322	2,342	11,852	414,439
平成19年度	934,783	49,622	3,899	18,416	1,006,720
平成20年度	1,506,785	65,456	5,929	22,252	1,600,422
平成21年度	2,423,254	99,378	5,654	27,358	2,555,644
平成22年度	6,407,952	209,039	30,826	69,851	6,717,668
平成23年度	6,944,084	280,387	41,394	81,423	7,347,288
平成24年度	7,674,019	252,109	49,852	247,650	8,223,630
平成25年度	16,530,577	480,292	57,026	206,606	17,274,501
平成26年度	23,224,613	585,411	53,553	221,590	24,085,167
平成27年度	37,004,963	869,274	71,193	292,745	38,238,175
平成28年度	40,015,309	1,037,071	76,624	304,633	41,433,637
平成29年度	51,904,330	821,923	68,706	301,160	53,096,119
平成30年度	35,467,747	610,716	48,423	326,648	36,453,534
令和元年度	42,634,969	710,865	80,514	701,272	44,127,620

※ 被参照数は、各データの詳細表示画面の表示回数。

※ レファレンス事例データ、調べ方マニュアルデータ、特別コレクションデータ及び参加館プロフィールデータにつき、参加館用システム・一般公開用システム双方からの被参照件数を合計した。

※ 一般公開の開始に伴い、平成17年12月15日から一般用画面統計を採取。

※ システムへの負荷を避けるため、平成29年6月末以降、クローラによるアクセスを抑制する対応を行っている。

(4) YAU (Yearly Active User) 数の推移

YAU (Yearly Active User) とは、公開レベルを問わず、1年間で1件以上、レファレンス協同データベースにレファレンス事例、調べ方マニュアル又は特別コレクションを登録した参加館の総数である。過去5年間の推移を見ると、YAU数は順調に進展しているものの、参加館総数に占めるYAUの割合は30%台後半で推移している。新規参加した後、事例の登

録が進まない図書館が一定数あると考えられる。

	YAU	参加館総数	YAU 比率
平成 27 年度	250	697	35.9%
平成 28 年度	272	741	36.7%
平成 29 年度	287	769	37.3%
平成 30 年度	294	805	36.5%
令和元年度	300	828	36.2%

(5) 令和元年度礼状送付

令和元年度は 80 館に御礼状を送付した。御礼状対象館はレファ協ウェブサイト内「令和元年度 国立国会図書館長からの御礼状送付＞対象館一覧¹」を参照のこと。

(6) 令和元年度企画協力員賞受賞館

・福井県文書館

(選定理由) 少人数の組織ながら、事業参加当初から継続的にレファレンス事例データの登録、一般公開を行っており、文書館のデータ充実に貢献している。

・公益財団法人矯正協会矯正図書館

(選定理由) 少人数の組織ながら、事業参加当初から継続的にレファレンス事例データの登録、一般公開を行っており、専門図書館のデータ充実に貢献している。

¹ https://crd.ndl.go.jp/library/thanks_R1.html#list